



ガールスカウトやまなし

No.10

2020年3月



成長と変化・広がる繋がりの中、私たちに求められるもの



(一社) ガールスカウト山梨県連盟
連盟長 青木れい子

私たちは、ガールスカウト活動を通じて、一人ひとりを大切にする気持ちを育み、自ら考え行動できる機会、可能性を最大限に発揮する機会を100年という歩みの中幸いにもたくさん得てきました。現在、私たちの取り巻く環境は、少子化・国際化・情報化・環境問題・虐め・貧困・高齢化社会と大きく変化して様々な課題が、目まぐるしく複雑に絡み合い加速している状況です。この社会における私たちガールスカウトに求められる活動はどのような事でしょうか。

2015年国連にて採択された、「SDGs」持続可能な開発問題の目標の中、CO2削減マイクロチップごみ削減・ジェンダー格差・貧困問題・みんなでつくる差別と暴力のない世界など様々な問題を活動に取り入れ、真摯に進めてきました。そこから学び・気づき・大切な問題としてスキルアップしながら更に積極的に挑戦して繋げています。活動は認知され見える行動として多くの人々に評価され、影響をも与えてきています。有用でさえあれば、いかに小さな一步でも、継続・変化を進めていく中、大切な活動として私たちだけの活動ではなく社会全体の大きな活動として残り繋がっていくと信じています。身近な問題から社会全体の様々な問題に気づき、声をあげ、解決の為に同じ方向を目指し、チームメンバー一人ひとりの特性を十分に生かしながら挑戦し続ける事の大切さを実感しています。

幸せな社会と未来の実現の為、リーダーシップを発揮して行動起こす事のできるのは、私たちガールスカウトだと再認識し、持続可能な社会の創り手として、「知識・技能・思考力・判断力・表現力・学び・気づく力」に磨きをかけ、自信をもって取り組み、進めていきたいと思えます。

おめでとう！

60周年を迎えて

ガールスカウト山梨県第1団 団委員長 小池さおり

ガールスカウト山梨県第1団は、1959年7月に甲府市において発団し、昨年60周年を迎えることができました。これも長年にわたり多くの方々のご支援をしてくださったおかげと感謝しております。

60周年記念事業として、10月に1泊2日でガールスカウトの聖地である戸隠ガールスカウトセンターへ旅行に行っていました。出発時、甲府駅北口は、雨が降っていたのですが、中央道を長野にすすむにつれ雲が薄くなり、最初の目的地善光寺では、ブラウス1枚で活動でき、長野を襲った台風19号の災害ボランティアの窓口が、善光寺仲見世通りにあり、洪水により床上浸水した家屋の掃除に使うタオルの寄付をいたしました。残念ながら、戸隠に向かう途中に天候が一転し、大降りの雨となっていました。その為、野外活動はできませんでした。室内で写真立てを作るクラフトやハンドゲームで楽しく過ごしました。

夜には記念式典を催し、60年の歴史を振り返り、歴代のリーダーやスカウト達の努力に感謝し、これからも様々な活動へ挑戦していこうと心をひとつにする時間となりました。2日目は、小雨になり、戸隠神社の杉並木を歩き忍野村、戸隠そばを楽しみました。

記念事業を終え、これまでの良い歴史を継承すると共に、更なる発展に向け努めてまいりたいと心新たにいたしました。

今後ともご指導、ご支援をお願い申し上げます。



～シンガポール交流事業～

山梨県連盟で初めて、独自の企画による海外研修のため、研修中のプログラムのすべてを、国際部会で行う事となりました。スカウも、1年以上にわたり7回の事前・事後研修を重ねての参加となりました。さらにレンジャーは、葉作成などにも関わり、研修を一緒に作り上げてくれました。

研修の目的の1つであった交流会は、シンガポール連盟・日本連盟の協力を得て、3か国間（シンガポール団・シンガポールで活動するアメリカ団）で実施することが出来ました。各国スカウトの発表があり、シンガポールのお菓子を食べたり、日本の兜を折ったりしながら、交流を深めました。1日目2日目はガールガイドシンガポール連盟事務局にある宿泊施設を利用。現地ガイドの歴史や活動について知り、世界中に姉妹がいることを実感できた体験でした。

2日間にわたるパトロール行動では、異文化に飛び込み、皆で悩み考えていく中で、自覚と責任、お互いを思い受け入れ合う心が生まれ、帰国時には自信に満ち溢れた姿に変身しました。現地での活動の詳細は、振り返り集にまとめてあります。連盟に保管がありますので、ぜひご一読いただき、この研修に対するスカウトの思いや成長ぶりを感じて頂けたら幸いです。

日程： 2019年3月23日（土）～3月27日（水）（事前事後研修 2018年4月～2019年7月）

参加人数： シニアスカウト 16名 レンジャースカウト 6名 、引率リーダー6名（うちヤングリーダー3名）

（国際部長 森川佳央里）



～令和元年度全国緑の少年団活動発表大会で6団が「みどりの奨励賞」を受賞！～



平成13年に結成以来、主に富士山麓をフィールドとして「スカウト達が主体的に参加する自然体験活動」をキーワードに様々な活動を行いました。沖縄で行われた大会では「五感を刺激する自然体験活動から森づくりの知恵を学ぼう！」のテーマのもと行った活動を、天野優愛スカウトと渡辺結衣スカウトが映像と解説で発表しました。（投影・勝見恵子リーダー）

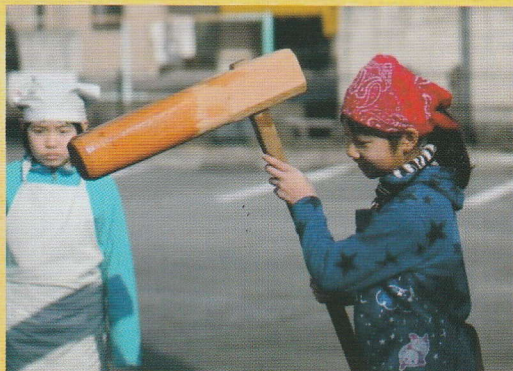
まず学習活動では、樹木博士や五感ゲーム。ルーペを使い探検ハイキング。バードコールを作成し野鳥観察。樹齢300年のブナとのふれあい。自然体験学習から学んだことは、豊かな自然を守り続けていく大切さでした。レクリエーション活動では、ツリークライミングを行い、一人でやりとげる力を育む活動となりました。一つひとつ体験学習を大切に、スカウト達も活動意欲も高く心豊かな人づくりができる点も評価されたと思います。奉仕活動では「世界の宝富士山を守ろう」をスローガンに、富士登山道のゴミ拾いを継続15年以上行っていること。世界遺産になってからは5合目で登山者などにゴミ持ち帰りのグリーンバックを配ってPRしています。

これからのビジョンとして、富士山の自然は勿論、歴史や文化などの富士山学を身につけ「自分の言葉で富士山をとりまく故郷の良さを語れる少女の育成」を目指したいと考えています。

（6団団委員長 星野豊子）

団活動報告

1 団



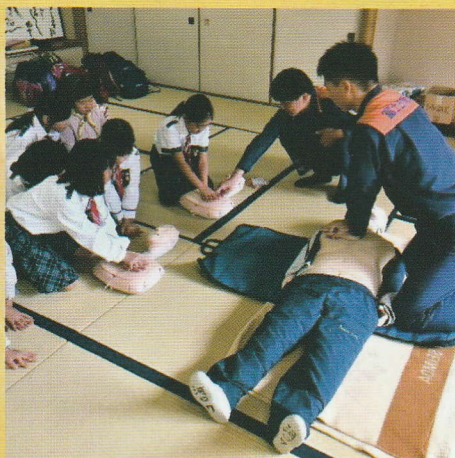
2020年、新年最初の活動は餅つき大会でスタート。初めて杵を持ったスカウトがほとんどでしたが、おいしい餅ができました。

2 団



クリスマスキャンプでランプシェード作り
ケーキ作り・昔の遊びを楽しみました。

3 団



富士五湖消防本部の消防士さんに救命講習をしてもらい、親子で参加し勉強しました。

4 団



1月13日甲府北口
「じゃんぼなわと
した。お友だちが

10 団



6 団



忍野さかな公園にて
「ちようざめさん、こんにちは。」

9 団



子育て支援センター「にらチビ」で
未来のガールスカウトを前に
パフォーマンス。盛り上がりました！

よっちゃばれ広場にて
び」コーナーを開きま
沢山きてくれました。



12 団

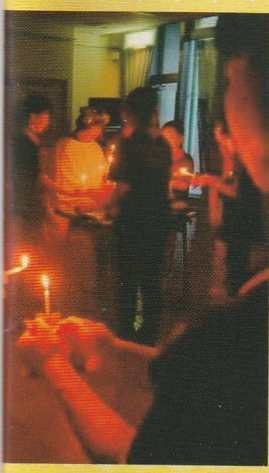
昔遊び…ぽかぽかの陽だまりの中で思っ
きり笑って、楽しみました！



17 団



新ブラウニー、初めてのデイキャンプ



朝霧高原キャンプ
キャンドルサービス
となりの人へ分火します

13 団



スカップ活動を楽しんでおります。
和気あいあい



18 団



キャンプの旗儀礼

15 団



『笑う門には福来る』カルタ、トントン相
撲に福笑い。手作りして元気一杯福を
呼び込み楽しんだ体験集会でした。

19 団

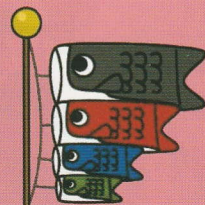


団キャンプ
ブラウニーの結束。楽しく！仲良く！

連盟主催、その他・・・いろいろな行事がありました

《愛宕山こどもフェスティバル》 5月5日（祝） 愛宕山

多くの家族連れが来て、クラフトや遊びを楽しみました。



《ダメ ゼットイ！薬物乱用撲滅キャンペーン》 6月22日（土） 県内各地



《ジュニア、シニア、レンジャーのつどい》 7月14日～15日 富士吉田市 赤い屋根

マイクロプラスチック削減についての勉強や、シンガポール派遣スカウトの報告会など
中身の濃い二日間を過ごしました。



《テンダーフット・ブラウニー部門体験集会》 10月27日（日） 金川の森

チャレンジ!スカウトオリンピック～あなたもわたしもメダリスト～のテーマで行われた体験集会。

多くの皆さんに野外活動の体験をしていただきました。



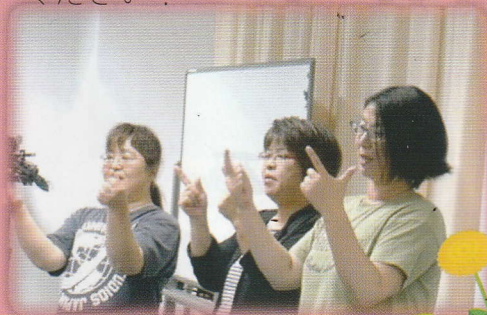
《甲府市 開府500年事業 協力》 9月14日(土) 小瀬中銀スタジアム 國中各団

國中各団の30名のスカウト・リーダーが甲府開府500年事業に協力しました。ヴァンフォーレの試合会場で、プラカードや堂々の行進を行いました。



《リーダースクラブ (県・國中・郡内)、その他》

リーダーもある時は真剣に、またある時は思いっきり笑い……。色んな表情のリーダーをご覧ください！



水口 小百合さん (2団 スキャップ)

私は現在、大学で英語を教えています。教室での学生たちとのふれあいには、ガールスカウトで培った協力する心がとても役に立っています。母がガールスカウトをやっていたので、ガールスカウトに入るのには私にとって自然の成り行きでした。キャンプや募金活動などの体験を通して、どんどんスカウト活動が好きになりました。そして、レンジャーの時にメキシコのアワカバ、ニャに派遣されたのが、私の人生の転機となりました。世界各国のスカウトと出会い、彼女たちと些細な事で笑い合ったり、一緒に行動する中で、異文化の人々と分かり合うという、これまで経験したことのない感動を覚えたのです。帰国してすぐに進路を理系から文系に変更し、大学、大学院と英文科で学びました。



私は学びには楽しさが重要だと思っています。みなさんの今一番楽しいと感じるスカウト活動は何ですか？楽しい！嬉しい！と感じる瞬間に全力でエネルギーを注いでみてほしいと思います。きっと何かが見つかるような気がします。

内藤 瑞穂さん (4団 リーダー)

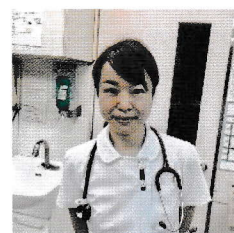
私は、小学生1年生からガールスカウトを続けていましたが、3年前に実家のお寺を継ぐために出家しました。仏教では、全ての人や物はそれだけで存在しているのではなく、いろいろな縁(えん)が重なり影響しあって存在していると考えられています。例えば、花を咲かせるには、種をまき、水や日光を与える必要があります。これが縁であり、いい縁を与えればきれいな花が咲き、逆に悪い縁を与えれば元気がない花になってしまうでしょう。人間も同じで、自分で自覚しているいないに関わらずいろいろな人や物の縁に影響を受け、自分ができるのです。



ガールスカウトでの体験は、私にさまざまな縁を与えてくれました。年齢の違う人たちとの活動、自然との触れあい、いろいろなボランティア活動など、おそらくガールスカウトに入っていなければ接することもなかっただろうことが多くあります。なかには苦手だしやりたくないと思うものもあるかもしれませんが、しかし、それをがんばって乗り越えたことは、後になっていい縁としてきっと自分に返ってくるでしょう。私の花もまだまだ咲かせ途中で。これからもみんなで一緒に、きれいな自分の花を咲かせていきましょう。

吉澤 幸恵さん (10団 リーダー)

皆さんこんにちは。私は小学生からガールスカウトをはじめ、現在は看護師として都留市立病院で働いています。私が戸隠キャンプに行ったのは、ジャニーズのTOKIOがジュニアだった時代と言ったほうがわかりやすいでしょうか？キャンプでは何も無いところから始める力や、みんなと一緒に考え、目標を達成する力を養った事と思います。当時、男女共同参画という言葉はまだなくて、ジェンダーフリーについての考えが始まったばかりでした。ギャザリングでは女性の自立について話し合いました。私が看護師を目指したのもその影響と、「人の役に立ちたい」という想いからでした。スカウト活動で培った経験や精神は、看護師としても社会の一員としても役立っています。



TOKIOのように華やかな人生ではありませんが、毎日が充実しています。皆さんも、いろんな体験をして、なりたい自分を目指していきましょう。

広報部員 紹介!



T.Furuya



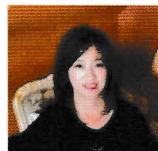
M.Komiyama



T.Horie



M.Kobayashi



M.Inaba



M.Shindo



M.Ishihara

<一社ガールスカウト山梨県連盟>

〒400-0811 甲府市川田町 517

山梨県立青少年センター内

TEL・Fax 055-228-6637

E-mail: gs-yamanashi@ceres.ocn.ne.jp

(火・木 13:30~16:30 但し、月が祭日の翌日は休業)

